



【教育目標】 心身ともに健康で 心豊かな生き生きとした生徒

〒368-0065 秩父市太田1661番地

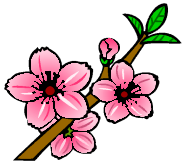
秩父市立大田中学校

〔TEL〕 0494-62-0051

〔mail〕 ohtachu@chichibu-stm.ed.jp

平成28年 3月 1日（火）第20号

学校のホームページに最新情報を掲載しています。併せてご覧ください。



節目を生かす

校長 池田 久男

3月の声を聞き、どこことなく春を感じる頃となりました。心を澄まして光の降り注ぐ木々を見上げると、何となく光が暖かく、春の息吹、新たな始まりの気配が感じられます。いよいよ平成27年度もあと1ヶ月、3年生の旅立ちのときが近づいてきました。

人は、人生の時々にある大きな区切りを、節目として大切にしてきました。それは、この節目が、我々の成長にとって大きな意味をもつからです。節目があるから次の目標がもてる、節目があるから切り替えられる、節目があるから新たな自分を発見できるというように、節目を生かすことができるのです。つまり、挑戦したり、取り戻したり、成長したりするチャンスにすることができるということです。

中学校の生活には、学年や学期の他、入学・卒業・運動会・文化祭などの学校行事や部活動・テストなど、数多くの節目が用意されています。中学生の皆さんには、節目を生かして成長する機会がたくさん設けられているということであり、それだけ可能性があるということでもあると思います。

さて、大田中学校の第69回卒業証書授与式が3月15日(火)に举行されます。3年生の皆さんにとって人生の大きな区切りであると同時に、義務教育9年間を終える節目でもあります。ぜひ、卒業というこの大切な節目を自分を成長させる機会にするとともに、未来に向かって大きく羽ばたいてほしいと思います。

中学校にとっても、卒業式は最も重みのある大切な学校行事になります。この1年間の取組の集大成として、お世話になった方々に大田中学校の今年度の成果を披露する機会でもあります。立派に成長した大田中生の姿を、保護者や地域の方々に見ていただきたいと考えています。

中学校最後の節目として、これまで、いろいろな場面で頑張ってきた3年生の門出を、皆で祝福したいと思います。一生の思い出に残るすばらしい卒業式になることを願っています。



卒業式の意義

〔卒業生にとって〕

- ◎ 卒業式は、中学校の全課程が修了したことを、来賓や保護者立ち会いのもとで社会的に公認する儀式的行事です。卒業生にとっては、生涯の「記念となるとき」です。
- ◎ 卒業の日は、それぞれが選んだ新しい進路に向かう人生の門出の日で、そのための「決意を新たにする日」になります。
- ◎ 卒業は、心身ともに成長した自分を改めて見直し、卒業の喜びをかみしめるとともに、いままでお世話になった周囲の人たちに「感謝の気持ちを表す機会」です。

[在校生にとって]

- ◎ 義務教育最後の節目である卒業式が意義深い行事であることを理解し、厳粛で気品のある卒業式をつくりあげようとする自覚をもつことが大切です。
- ◎ お世話になった3年生の卒業を、皆で祝福する機会です。
- ◎ 3年生の卒業を祝福するとともに、自分たちの進級の喜びを分かち合い、新学年に向けた決意と希望をもつ機会にしましょう。



3年生を送る会にお越しください 3月11日(金) 大田中体育館

本年度も、恒例の3年生を送る会を実施します。
 本年度は平日の開催となりますが、保護者・地域の皆様にもご来校いただき、共に楽しい時間を過ごせますよう、ご案内申し上げます。
 なお、駐車場は校庭、受付は体育館入り口になりますので、よろしくお願いいたします。

【日程】

13:00~13:10	開会行事
13:10~13:50	1年生発表(劇)
14:00~14:40	2年生発表(劇)
14:50~15:00	スライド上映 (3年間の思い出)
15:00~15:05	教職員の出し物等
15:05~15:30	閉会行事(全校合唱)



特集 地域を知ろう ④ 大田と医学① 設楽求馬翁と滴水塾

大田には、先覚者として、医学の分野で活躍した方がいます。日本で初めて帝王切開を行った伊古田純道翁は大変有名ですが、それ以前にも優れた医師がいました。堀切村の出身の設楽求馬(幼名清兵衛)翁(1724~1808)がその人です。求馬翁は江戸に出て医学や薬学を学び、平賀源内とも親交をもち、共に世界の医学の新知识を交換したとも伝えられています。

その後、郷里の堀切に帰って近くの太田村早道場で開業しましたが、時に危篤の患者を救ったり難しい持病を治癒させたりしたので、その名声は郡内に響いたそうです。やがて、求馬翁は医学生養成所である「滴水塾」を開き、塾生の教授に取り組みました。郡内各地から塾生が集まり、一時は50名以上の塾生がいたと言います。求馬翁の教授した内容や病理診断の奥義、薬の処方などが、高弟の大野均長や武島頼之らによってまとめられています。それが、「習医筆記」「滴水医話」「採草筆記」と題されて公刊されたそうです。

なお、この設楽求馬翁が亡くなった時、伊古田純道翁は7歳だったということです。



堀切にある求馬翁の墓

3月 行事予定



行事予定は変更されることがあります。

日	曜	行 事 等
1	火	更生保護女性会あいさつ運動
2	水	公立高校入試学力検査
3	木	公立高校入試面接
4	金	移動図書館
10	木	公立高校入学許可候補者発表 安全点検
11	金	生徒総会 3年生を送る会
14	月	卒業式予行・準備

日	曜	行 事 等
15	火	第69回卒業証書授与式
18	月	期末短縮(~24日)
20	日	春分の日
21	月	振替休日
24	木	大掃除 給食最終日
25	金	修了式
26	土	学年末休業日(~31日)

